

山口県立大学の授業を受けてみませんか？

「令和8年度 公開授業」について

ポイント

- 👁️ 大学生・大学院生が受けている授業を地域の皆様に公開
- 👁️ 山口県立大学の学生と一緒に授業を受けることができる
- 👁️ 全15回の授業で、本学の教育・研究について理解を深めることができる

山口県立大学では、大学生が受けている授業を地域の皆様に公開しています。大学の授業に興味をお持ちの方なら、どなたでも受講大歓迎です。

「令和8年度 公開授業」開催について

授業名	開催期間・場所	定員	申込期間
【前期公開授業】 地域学 (学部科目)	4月9日(木)～7月23日(木)全15回 山口県立大学 B301 教室 (2号館3階) 【SPARC事業リカレント教育の「地域学基礎」として実施】	10名 (先着順)	3月16日(月) 9:00～ 3月31日(火) 17:00
【後期公開授業】 情報文化 リテラシー特論 (大学院科目)	10月5日(月)～R9年1月25日(月)全15回 山口県立大学 【SPARC事業の一貫として開講】	10名 (先着順)	9月1日(火) 9:00～ 9月16日(水) 17:00

※SPARC事業の一貫として開講します

「地域活性化人材育成事業 SPARC」(Supereminent Program for Activating Regional Collaboration)は、令和4年度に山口大学・山口県立大学・山口学芸大学が文部科学省に採択された事業です。

※申込多数の場合、期間内でも募集を締め切ることがあります。

※受講料：5,000円(税込)

(申し込みの際、オンライン決済で支払いをお願いします。支払手数料は受講者負担となります。)

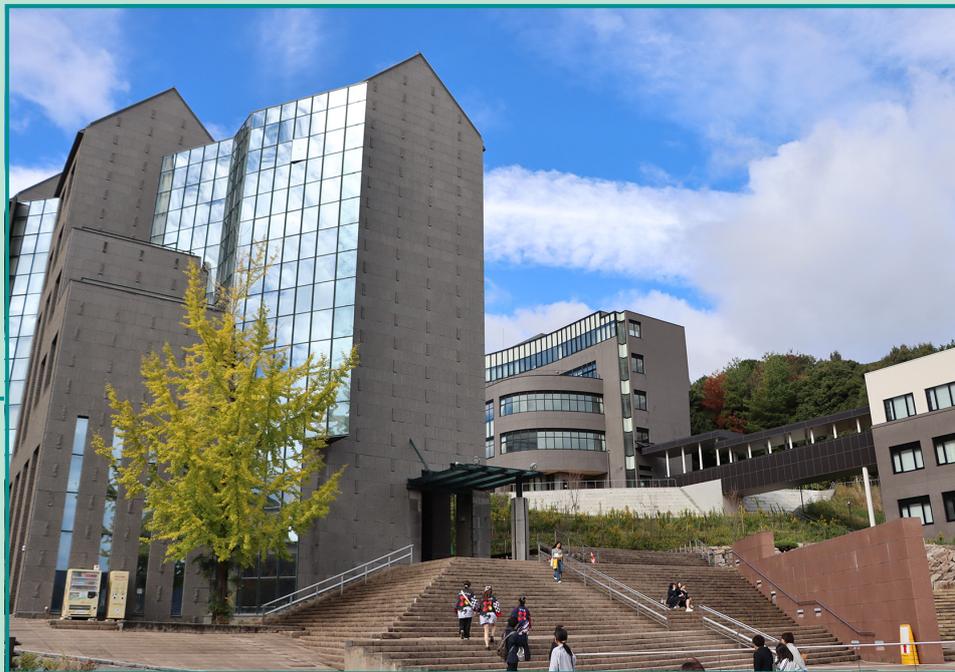
※詳しい内容や申込方法については、別紙チラシ・本学ホームページをご確認ください。

お問い合わせ先

〒753-8502 山口市桜島6丁目2-1
 山口県立大学地域共生センター 担当：平田
 TEL：083-929-6611 FAX：083-929-6632
 Email：ypumanabi@yp4.yamaguchi-pu.ac.jp

法人経営部 事業管理・経営企画部門
 担当：高夫 (たかぶ)【大学広報担当】
 TEL：083-929-6604 FAX：083-929-6631
 Email：ypu-koho2@yp4.yamaguchi-pu.ac.jp

公開 授業



受講のご案内

山口県立大学では、大学生・大学院生が受けている授業科目の一部を地域の皆さまにも公開しています。学生と一緒に受講してみませんか？

山口県立大学では、多くの社会人が学んでいます。

地域学

■担当教員／国際文化学部情報社会学科
教授 井竿 富雄 他4名

■開講時期
前期(2026年4月から7月)

令和8年
4/9木
スタート!

【SPARC事業リカレント教育の「地域学基礎」として実施】

「地域活性化人材育成事業SPARC」(Supereminent Program for Activating Regional Collaboration)は、令和4年度に山口大学・山口県立大学・山口学芸大学が文部科学省に採択された事業です。

デジタルトランスフォーメーション(DX)が生活の一部となり、急速に大きく変化するさまざまな情報環境やツール、生成AIなどの選択や活用が求められ、新しい社会のシステムや価値観が次々と生まれる時代となっています。

SPARC事業では文系の分野でデータやデジタルの知識・スキルを身につけ、人文的な見地から情報をもとに身近な課題解決にアプローチできるDX人材を育成しています。

■受講料／
5,000円(税込)

■場所／B301教室(2号館3階)

■開講曜日・時間

木曜日 14:40~16:10

■一般受講者定員／**10**名(先着順)

授業概要

国際的な教養や行動力を身に付けるためには「地域に出て実践的な学びを行う」ことが必要です。地域での学びのひとつであるフィールドワークの手法に着目し、その倫理的・理論的・実践的な課題を理解し、実際に地域に出かけて地域住民と交流するための基礎的な知識・態度・行動力を育むことを目的とします。

■テキスト

『新・地域の社会学』(有斐閣)

申込期間 令和8年 **3/16** 9:00 ~ **31** 17:00 (必着)
詳細はウラ面をご覧ください。



山口県立大学公式マスコットキャラクター
わいびよ



Website

■受講の方法

対面またはオンラインでの参加となります。公開授業の受講は単位取得にはなりません、最終試験などはありませんので、気軽に受講していただけます。なお、単位をご希望の場合は、「科目等履修生」という制度がありますので、お問合せください。

■地域学

国際文化学部・国際文化学科・文化創造学科・情報社会学科の科目です。

授業概要

回	日程	概要		担当教員
	令和8年			
1	4 / 9 木	オリエンテーション・地域学とは	授業の目的を理解し、テキストの紹介や授業の進行について理解する。「地域学とは」について説明する。	井竿
2	4 / 16 木	フィールドとなる地域の とらえかたについて	フィールドとなる地域のとらえ方について様々な視点を考える。 (例:時代や地域で変わるフレームワーク、行政や生活圏など多様に重なる領域)	井竿・安溪
3	4 / 23 木	フィールドから考える地域: 文化人類学のアプローチ	文化人類学の視点から世界や日本の地域について考えるアプローチについて解説し、PBLなどで地域に入るための心構えや態度・行動などについて考える。	井竿・安溪
4	5 / 7 木	歴史から考える地域	地域特有の課題には様々な歴史的・地理的・文化的要因があり、現代社会や国際社会に共通する諸課題とも関係つけて考察する必要があることについて学ぶ。	井竿・安溪
5	5 / 14 木	ディスカッション(グループワーク)	グループで事前課題を共有後、地域課題の一つ取り上げて「課題の要因分析」「類似の先行事例発見」「解決に向けて物事を動かす鍵となる点」についてディスカッションを行い、その結果を発表する。	井竿・安溪
6	5 / 21 木	データから考える地域①	公開されたデータを使って地域の環境に関する諸課題を概観し、データ収集・分析によるエビデンスをみつける方法、デジタルトランスフォーメーションを使った課題解決を考える方法等について学ぶ。	井竿・今村
7	5 / 28 木	データから考える地域②	前回の続きを行う。	井竿・芹澤
8	6 / 4 木	グローバルとローカル: ネットワークング	グローバルな視点とローカルな視点から課題を捉える。地域特有の課題は、地域内だけでは解決できず、幅広い視野やネットワーク、異業種交流などが必要になることや、現代社会、国際社会に共通する諸課題とも関係つけて解決策を考察することについて学ぶ。	井竿・水谷
9	6 / 11 木	グローバルとローカル: モノ・コト・サービスを生み出す	グローバル化、ポータル化、高度情報化の進む今日、世界の人々の興味関心や求めるものには共通の価値があるとともに、地域独特の個性や特性・特色が打ち出される。地域のブランド化やスタートアップなどについての事例について考える。	井竿・水谷
10	6 / 18 木	文化から考える地域	地域特有の課題には様々な文化的要因があり、現代社会や国際社会に共通する諸課題とも関係つけて考察する必要があることについて、特に文化施設やイベント企画などを事例に学ぶ。	井竿・水谷
11	6 / 25 木	ディスカッション(グループワーク)	グループで地域課題の一つ取り上げて「課題の要因分析」「類似の先行事例発見」「解決に向けて物事を動かす鍵となる点」についてディスカッションを行う。ディスカッション結果を発表し、他のグループの視点から学んだことを振り返る。	井竿・水谷
12	7 / 2 木	地域の事例を見る(行政)	行政から捉える地域の諸課題についての講義。市民生活や市民サービスなどの向上に向け、街づくりを行う行政の課題や課題解決に向けたのプランニングの手法について、特にデジタルトランスフォーメーションに特化した2つの事例について話を聞く。	井竿 ゲスト スピーカー①②
13	7 / 9 木	地域の事例を見る(企業)	企業が捉える地域の諸課題についての講義。企業内における業務管理や組織管理の向上、モノやサービスなどの質向上などに向けた課題や課題解決への取り組みについて2つの事例を聞く。	井竿 ゲスト スピーカー③④
14	7 / 16 木	地域の事例を見る(民間団体)	民間団体(各種施設など含む)が捉える地域の諸課題についての講義。公立や私立などの図書館や文化施設、企業と連携した施設や団体等における業務改善や市民・消費者サービスの視点から見た課題や課題解決に向けた取り組みについて2つの事例を聞く。	井竿 ゲスト スピーカー⑤⑥
15	7 / 23 木	まとめに向けたグループワーク	テキスト全体をふまえて、「地域学」とは何かについてまとめる。グループ内でテキストの内容をふまえて、ゲストスピーカーの事例から引き出した課題の一つ取り上げ、課題の具体的な説明、先行事例をふまえた課題解決策に関する仮説、仮説を裏証する場合の方法案などについて話し合う。	井竿

申し込みについて

申込フォームからお申込みください。



申込
フォームは
こちら



最初に「ゲストユーザー登録」を行ってください。

受講料は申込時にお支払いください。

(URL <https://e-apply.jp/ds/ypuc-oln/public/login>)

※応募多数の場合、期間内でも募集を締め切ることがあります。

お問い合わせ



公立大学法人

山口県立大学
Yamaguchi Prefectural University

地域共生センター

〒753-8502 山口市桜島6丁目2-1

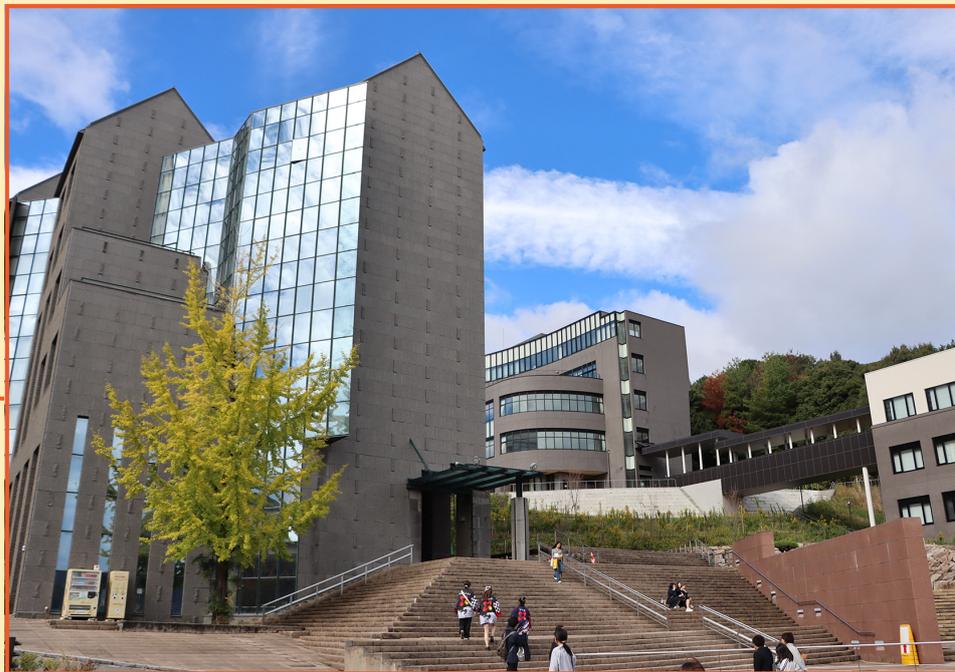
TEL.083-929-6611

(平日9:00~17:00)

FAX.083-929-6632

e-mail : ypumanabi@yp4.yamaguchi-pu.ac.jp

公開 授業



受講のご案内

山口県立大学では、大学生・大学院生が受けている授業科目の一部を地域の皆さまにも公開しています。学生と一緒に受講してみませんか？

山口県立大学では、多くの社会人が学んでいます。

大学院科目

情報文化リテラシー特論

担当教員／大学院国際文化学研究所 准教授 阿部 真育

【SPARC事業の一貫として開講】

「地域活性化人材育成事業～SPARC～」(Supereminent Program for Activating Regional Collaboration) は、令和4年度に山口大学・山口県立大学・山口学芸大学が文部科学省に採択された事業です。

デジタルトランスフォーメーション(DX化)が生活の一部となり、急速に大きく変化するさまざまな情報環境やツール、生成AIなどの選択や活用が求められ、新しい社会のシステムや価値観が次々と生まれる時代となっています。

SPARC事業では文系の分野でデータやデジタルの知識・スキルを身につけ、人文的な見地から情報をもとに身近な課題解決にアプローチできる文系DX人材を育成しています。

令和8年
10/5月
スタート!

受講料／
5,000円(税込)

開講曜日・時間

月曜日 18:00～19:30

※一部変更あり

申込
期間

令和8年

9/1 火 9:00～**16** 水 17:00

詳細は
ウラ面を
ご覧ください。

一般受講者定員／**10**名(先着順)

授業概要

情報やアイデアを専門家からのみ得られる時代はかなり前に終焉を迎えていると言われていています。そのような中、AIベースの様々なツールを重要なパートナーとして情報収集やアイデア検討をすることが当たり前時代となっています。但し、AIは学習した内容に基づいてでしか解を出すことが出来ません。一方で、情報が蓄積されていればどんな課題も解決できるわけではありません。

本科目では、現時点において情報が蓄積されているか否かに依らず、持続可能な社会をつくるために、情報とどのように接していけば良いかについての基礎力を養います。

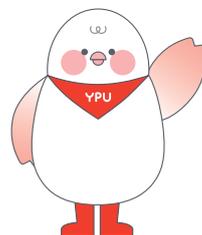


Website



公立大学法人
山口県立大学
Yamaguchi Prefectural University

地域共生センター



山口県立大学公式マスコットキャラクター
わいびよ

■受講の方法

対面またはオンラインでの参加となります。公開授業の受講は単位取得にはなりません、最終試験などはありませんので、気軽に受講していただけます。なお、単位をご希望の場合は、「科目等履修生」という制度がありますので、お問合せください。

■受講に必要なもの

パソコンを使って授業を行います。Microsoft Office(Word, Excel, PowerPoint, PowerBI)がインストールされているものを準備してください。また、インターネットも利用しますので、Wi-Fiネットワークに接続できることをご確認ください。

■情報文化リテラシー特論

大学院国際文化学研究科の科目です。

授業カリキュラム

回	日程	テーマ
	令和8年	
1	10/5月	オリエンテーション、データサイエンス分野を巡る国内外の流れを理解する(1)
2	10/15木	データサイエンス分野を巡る国内外の流れを理解する(2)
3	10/19月	課題の抽出から社会実装までのプロセス(データサイエンスプロセス)について学ぶ(1)
4	10/26月	課題の抽出から社会実装までのプロセス(データサイエンスプロセス)について学ぶ(2)
5	11/2月	課題の抽出から社会実装までのプロセス(データサイエンスプロセス)について学ぶ(3)
6	11/9月	課題の抽出から社会実装までのプロセス(データサイエンスプロセス)について学ぶ(4)
7	11/16月	データの可視化や経営判断のツールとして用いられるBIツールの理解とインストール方法を学ぶ。併せて空間情報の可視化に特化したGISについても学ぶ(1)
8	11/30月	データの可視化や経営判断のツールとして用いられるBIツールの理解とインストール方法を学ぶ。併せて空間情報の可視化に特化したGISについても学ぶ(2)
9	12/7月	データの可視化や経営判断のツールとして用いられるBIツールの使い方(傾向抽出や結果の考察方法)を学ぶ(1)
10	12/14月	データの可視化や経営判断のツールとして用いられるBIツールの使い方(傾向抽出や結果の考察方法)を学ぶ(2)
11	12/21月	BIツールを用いて、把握できる傾向等に関してプレゼンテーションする方法を学ぶ
	令和9年	
12	1/7木	・表計算ソフト(Excel等)を用いたオープンデータの統計処理や可視化
13	1/13水	・表計算ソフト(Excel等)を用いたオープンデータの統計処理や可視化
14	1/18月	PowerPoint等によるプレゼンテーションを行い、質疑や討論を行う
15	1/25月	プログラミング言語でデータを取り扱う方法を体験する

申し込みについて

申込フォームからお申込みください。



申込
フォームは
こちら



最初に「ゲストユーザー登録」を行ってください。
受講料は申込時にお支払いください。

(URL <https://e-apply.jp/ds/ypuc-oln/public/login>)

※応募多数の場合、期間内でも募集を締め切ることがあります。

お問い合わせ